

## 平成24年度「北海道チャレンジ企業表彰」受賞企業と選定理由

### 【創業部門】(3社、五十音順)

企業名	株式会社 HMカンパニー		
所在地	札幌市(中央区)	代表者	林 英邦
業種	農業人材派遣・プロデュース	創業	平成21年
取組内容 と 選定理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業分野の担い手や働き手不足の問題を解決すべく、農業専門の人材派遣を行っており、道内10農協エリア、約300軒の農家と取引がある。</li> <li>・農業の活性化と地域特産品の開発を目的として、平成22年、漬物の日本一を決める大会「T-1 グランプリ」を企画・運営、翌23年には全国区のイベントに発展させた。</li> <li>・また、キャラクター「リトルベリーズ」による道産ハスカップ・アロニア・シーベリーの小果実のPR事業を行うとともに、これら道産小果実を使った各種商品開発を支援に取り組んでいる。</li> </ul>		

企業名	株式会社 コバルテック		
所在地	札幌市(白石区)	代表者	竹俣 真伸
業種	ダイヤモンド工具製造販売	創業	平成21年
取組内容 と 選定理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勤務していた会社のダイヤモンド工具部門縮小を機に独立開業。</li> <li>・土木・建築現場で使用するダイヤモンド工具の製造業者は、関東以北では同社が唯一の製造事業者である。また、全国的にも珍しい、使用済みのドリルのコアビット(ドリル刃)を再生する技術を持っているが、この製品はエコロジーで経済的にもメリットがあるため、全国から受注がある。</li> <li>・また、今後の増産見通しから、生産体制を再構築するとともに、専用の検査装置を導入し、コンクリート構造物の非破壊検査事業に進出した。</li> </ul>		

企業名	どうぶつ眼科VECS		
所在地	札幌市(北区)	代表者	久保 明
事業内容	眼科専門の動物病院	創業	平成23年
取組内容 と 選定理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成22年、全国でも数少ない獣医眼科学専門医の資格を取得し、翌23年に道内唯一の眼科専門動物病院を開設した。</li> <li>・動物の眼科診療には特殊な診断機器と専門的知識が必要とされるため、一般の動物病院で扱うことは困難なケースが多い。同院は他の動物病院では整備困難な高度医療機器を導入し、道内の一般動物病院や大学附属病院などからの診療、手術の依頼を受けている。</li> <li>・高齢化社会が進むなか、今後ますます高まるペットニーズに応えていくことが期待されている。</li> </ul>		

【経営革新部門】(3社、五十音順)

企業名	株式会社 活里		
所在地	札幌市(北区)	代表者	寺田 信行
業種	化粧品、機能性食品製造	創業	昭和63年
取組内容 と 選定理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・化粧品や機能性食品の研究開発、製造・販売などを主体とした事業を展開しており、特に天然資源を活用した製品づくりに努めている。</li> <li>・近年は大学や企業、研究機関などと共同で、道産ゼオライト(仁木町産)を利用した口蹄疫などの家畜伝染病等の消毒薬や、放射線セシウムの除染用技術・製品の研究開発など、新たな分野に取り組んでおり、中でも、福島県と岩手県の「除染技術実証事業」に応募した除染技術は、両県に採択され、ゼネコンや除染事業請負業者からも高い関心や評価を得ている。</li> </ul>		

企業名	株式会社 田中工業		
所在地	小樽市	代表者	田中 惣平
業種	銑鉄・鋳物製造	創業	昭和27年
取組内容 と 選定理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従来、マンホールの蓋や溶接金網など公共工事用資材を生産していたが、公共事業の縮減による生産の縮小を打開するため、機械部品や高層建築物の部品製造を手掛けるなど、公共事業中心の経営からの転換を図った。</li> <li>・平成22年には鉄道車両部品事業の参入に成功し、三重県の二次加工メーカーを通じ、最終製品は中国や台湾、南米などの鉄道に使用されている。</li> <li>・更には、トヨタ生産方式の導入等に取り組んだ結果、かつてほぼ皆無であった非公共事業関連の売上比率は、現在約40%程度にまで上昇している。</li> </ul>		

企業名	株式会社 ティーピーパック		
所在地	札幌市(西区)	代表者	池川 和人
業種	包装資材の企画開発・販売	創業	平成2年
取組内容 と 選定理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品包装資材卸売業であるが、単なる卸売に留まらず、ユーザーニーズに応じて企画段階からパッケージの形態・ネーミング・デザイン・販売支援までを一貫して行うことで、食品の付加価値を最大限に高めている。</li> <li>・また、試験研究機関などとの共同プロジェクトに積極的に取り組んで来ており、平成24年には、氷が長持ちし、保存性と作業効率性が大きく改善する止・排水兼用栓付きのプロッコリー専用容器「ヌクミズくん」を開発し、同社としては初めての特許取得に至った。</li> </ul>		